

## 平成26年度 第5回公立大学法人鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日時 平成27年1月23日(金) 13:30～15:40
- 場所 鳥取環境大学 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、河原正彦委員、三野徹委員、若原道昭委員、岡部哲彦委員  
林田英樹委員、山田憲典委員、吉田圭子委員、渡邊良人委員 [9名/10名]  
葉狩弘一監事 [1名/2名]
- 欠席者 藤縄匡伸委員、松本美恵子監事

### 【議事】

#### 1 前回議事要旨の確認

#### 2 審議事項

- (1) 平成26年度第3回補正予算案について  
資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。
- (2) 平成26年度及び平成27年度における複数年契約案件について  
資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

(3) 公立大学法人鳥取環境大学及び鳥取環境大学の各種事業に於ける関係機関等との連携について

規程の制定について

資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

- (4) 学生部長の廃止と副学長業務の整理に係る規程(2件)の一部改正について

大学としてとても重要なポイント。英語のみならず中国語や他の言語の支援も積極的に考えてほしい。

○英語村は、環境大学にとって注目を集める要素であり、地域の人に近づくとてもいいチャンネル。これからは地域から評価される大学でないと伸びていかない。

→英語村は、まちなかキャンパスなども活用し、地域の人にも親しんでもらっている。英語スタッフの確保が難しいといった問題もあるが、外部からの視察も多く関心は高い事業なので今後も積極的に取り組みたい。

- (3) 裁量労働制の導入に伴う諸規定の変更等について  
資料に基づき、裁量労働制の導入に伴う諸規定の変更等について説明があった。

#### 4 報告事項

(1) 近況報告

資料に基づき、報告があった。

(2) 岡山支局の活動状況について

資料に基づき、報告があった。

(3) 入試実施状況

資料に基づき、報告があった。

○環境学部の県内の志願者が減っているのが気になる。詳しい原因をよく調査してみる必要があるのではないか。

→確かにこれまでできていない部分なので、一度調査してみたい。

(4) 大学における内部規則等の総点検・見直しについて

資料に基づき、報告があった。

文部科学省への最終的な報告に際し、監事の所見をお願いすることになる。

(5) 新研究科設置に向けた事前相談の結果について

資料に基づき、報告があった。

(6) 私費外国人留学生奨学制度の新設について

資料に基づき、報告があった。

(7) 学生・職員提案箱への提案状況について

資料に基づき、報告があった。

(8) 鳥取環境大学開催の APGN 山陰海岸シンポジウム・イベント

資料に基づき、報告があった。